

大会宣言

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果をあげてきた。

知識基盤社会化やグローバル化が進む中、これまでの研究と実践の成果や課題を踏まえ、第六十回香川大会より、大会主題「新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を設定し、研究を進めてきた。特に、心豊かにたくましく生きる力の育成を目指す教育課程の編成・実施・評価・改善、そして、教職員一人一人に専門職としての自信と誇りをはぐくみ、実践的指導力を高め、その資質・能力の向上等に努めてきた。

現在、社会は大きく変動し、様々な改革が推進されている。このような現状を認識し、未来社会に夢と希望をもち、たくましく生きる子どもを育てることが学校教育の責務である。

そのためには、美しいものを美しいと感じる感性や人としての温かさなどの「豊かな心」、自ら学び、自ら考え判断する力などの「確かな学力」、そして、健康で生き生きとした生活を送るための「健やかな体」、すなわち、「徳・知・体」の調和のとれた力である「生きる力」をはぐくむことが重要である。今、その力を自己の確立へとつなげ、他のかかわり合いの中で自分づくりを豊かなものにする実践と、凜として立つ校長の教育理念と指導性が求められている。私たち校長は、熊本大会における副主題「自己の確立に努め、かかわり合いを深めながら、夢と希望に向かう子どもの育成」を目指す小学校教育の推進に全力を傾注することにより、国民の信託に忘えようとするものである。

ここに、第六十一回全国連合小学校長会研究協議会熊本大会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現を期する。

記

- 一、新しい時代を拓き、心豊かにたくましく生きる日本人の育成
- 一、自己の確立に努め、かかわり合いを深めながら、夢と希望に向かう子どもの育成
- 一、確かな学力の向上と創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核に据えた豊かな人間性の育成
- 一、学校の自主性・自律性の確立と保護者や地域住民との連携の促進
- 一、安全で安心な教育環境づくりと家庭や地域社会の教育力の向上
- 一、校長自らの研鑽と教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実

右、宣言する。

平成二十一年十月二十三日

第六十一回全国連合小学校長会研究協議会熊本大会